



PRESS RELEASE  
Osaka Convention & Tourism Bureau

公益財団法人

大阪観光局

〒542-0081

大阪市中央区南船場4-4-21

TODA BUILDING 5階

TEL (06)6282-5900(代)

FAX (06)6282-5915

2026年4月23日

大阪文化フリンジ機構設立準備室

【大阪文化万博 Osaka Fringe2026】 10月8日～11月8日開催

万博レガシーを受け継ぐ、誰もが主役になれる  
オープンアクセス型フェスティバル  
参加アーティスト&会場提供パートナーの募集を開始！

osaka  
fringe

## spill over ー文化芸術が街にあふれだす【大阪文化万博 Osaka Fringe2026】

大阪文化フリンジ機構設立準備室では、大阪の街全体を舞台とした「大阪文化万博 Osaka Fringe2026」の開催に向け、「会場提供パートナー」「参加アーティスト」の募集を開始いたします。2025 年大阪・関西万博がもたらした国際交流の熱気を万博レガシーとして受け継ぎ、誰もが表現者として参加できるオープンアクセス型フェスティバル「大阪文化万博 Osaka Fringe2026」へと発展させます。本フェスティバルは、世界共通のフェスティバル規格である「フリンジ」のエコシステムをベースに、プロ・アマチュア、国籍、障がいの有無といったあらゆる垣根を取り払い、国内外のアーティストが街中のさまざまな空間を舞台にパフォーマンスを展開する、文化芸術観光プラットフォームを目指しています。

### ■開催の背景:新たな文化芸術観光プラットフォームの構築

万博後の大阪では、キタやミナミなど特定エリアへの一極集中によるオーバーツーリズムの懸念や、夜間(ナイトタイム)のインバウンド向けコンテンツ不足という課題を抱えています。また、市内には多様なアートイベントや魅力的な遊休空間が点在しているものの、それらを横断的に繋ぐハブ組織が少なく、有機的な連携に至っていない現状があります。

こうした課題に対し、「大阪文化万博 Osaka Fringe 2026」は、タクティカルアーバニズムの手法を用いて、大阪の街全体を「巨大な劇場空間」へと変貌させる『文化芸術観光プラットフォーム』の構築を目指します。

街中の空間・民間施設と、国内外のアーティストをマッチングさせて街を舞台化することで、既存イベント群の隙間を埋め、地域のストーリーを「面的な体験価値」へと昇華させます。これにより、国内外の観光客を市内広域へ回遊させ、高付加価値化による長期滞在の促進と消費拡大を目指します。

同時に、フリンジは若手アーティストを育成し、世界へと売り出すための「登竜門」でもあります。本事業を単なる一過性のイベントで終わらせず、大阪の持続可能な「都市の文化エンジン」として定着させることが、これからの文化芸術観光の発展に不可欠であると考えています。

### ■ オープンアクセス型フェスティバル

本フェスティバルの最大の特徴は、主催者による作品の審査や選考を行わない、フリンジ特有の「オープンアクセス(無審査)方式」を採用している点です。「誰もが表現者として参加できる」という理念を、以下の3つの具体的なシステムとして実装しています。

\* 表現の多様性と包摂性:

年齢、性別、国籍、プロ・アマの垣根を完全に取ります。SDGs の「誰一人取り残さない」理念を文化芸術の分野で実現し、無名のアマチュアパフォーマーと世界的なプロアーティストが同じ環境で肩を並べる、多様な価値観が交差する国際交流の場を作ります。

\* アーティストと会場の DIY 型マッチング:

参加アーティストは、事務局が用意したステージを与えられるのを待つものではありません。公開された会場リストをもとに、自ら街の飲食店や空きスペース(会場提供パートナー)と直接交渉し、自らの手でステージを創り上げます。

\* 地域とクリエイターへの直接還元:

チケット売上や投げ銭による収益は、パフォーマンスを行ったアーティストと、場所を提供した店舗・施設へダイレクトに還元されます。自立したクリエイターと地域経済が直接結びつくことで、大阪の街全体を「巨大な劇場空間」として機能させます。

### 「街中でのパフォーマンス事例」



なんば広場でのパフォーマンス



あべの HOOP でのバルーンアート



ミュキビルでのパフォーマンス

#### ■ 募集要項①:「会場提供パートナー」の募集

「大阪文化万博」の舞台は、街そのものです。パフォーマンスの場となるスペースをご提供いただける企業・団体・個人を広く募集しています。自社管理スペースの有効活用を通じ、SDGs 達成に向けた文化支援活動として企業価値の向上に繋がります。

\* 想定する会場タイプ

【CENTER/CORE】市街地の広場、公園、商業施設内イベントスペースなど。期間中、出店・パフォーマンスを高頻度でマッチングさせ、フェスティバルの中心地として賑わうステージになります。

【HISTORICAL】重要文化財、登録有形文化財など歴史的な建築・都市空間。大阪の歴史が感じられる会場にアートパフォーマンスを融合させます。

【LOCAL】カフェ、バー、倉庫、銭湯など街なかのあらゆる場所。日常空間をフリンジのステージとすることで、地域に根差した文化芸術観光のボトムアップにつなげます。

\*条件は当事者間で自由調整

開催日程や時間、会場使用料(無料・固定費・売上シェアなど)の条件は、会場とアーティスト間で自由に個別調整していただけます。そのため、通常営業や既存イベントに影響のない形で参加できます。

#### ■ 募集要項②:「参加アーティスト」の募集

プロ・アマチュア、国籍、実績による審査は一切ありません。自ら場所を見つけ、交渉し、あなたの表現を世界に向けて発信する場です。

会場リスト(広場、歴史的建造物、カフェなど)から、自身のスタイルに合う場所を選び、直接交渉で独自の公演を実現してください。事務局がサポートいたします。

\* 募集ジャンル:

演劇、ミュージカル、ダンス、コメディ、音楽、紙芝居、大道芸、マジック、人形劇、サーカスなど、ライブパフォーマンス全般。

\* 参加のメリット:

- \* 万博レガシーで活気づく「大阪文化万博 Osaka Fringe」でのパフォーマンス機会。
- \* 国内外の観客・ディレクターとのネットワーク構築。
- \* チケット売上(投げ銭含む)が直接アーティストに還元されるシステム。

## ■ 今後の展望

本フェスティバル期間中は、他のイベントや観光キャンペーンの同時実施なども視野に入れ、自治体や地域の交通・インフラ企業との連携を深めてまいります。

## 【本件に関するお問い合わせ・お申し込み先】

大阪文化フリンジ機構設立準備室

広報担当: さくら

info@osakafringe.com

[TEL]090-9996-0391

[公式ウェブサイト URL] <https://osakafringe.com/>

## ■ フリンジフェスティバルとは…

「フリンジ」は、英語の「fringe」から来ており、元々は「縁」や「端」を意味します。1947年、スコットランドのエディンバラで開催された国際芸術祭において、公式プログラムに招待されなかったアーティストたちが、自主的にその「周辺(フリンジ)」の会場でパフォーマンスを披露したことが起源とされています。以来、権威や審査に縛られない「自由な表現の場」という概念をもつ、世界共通のフェスティバル規格として、多くの都市でフリンジフェスティバルが開催されています。伝統的・商業的な枠組みにとられない演劇、大道芸、音楽、ダンス、コメディ、マジックなど、あらゆるジャンルのパフォーマンスが街中の至るところで繰り広げられます。これにより、アートと観衆の間の新しい対話が生まれ、文化的多様性や表現の自由を促進します。フリンジをキーワードに国際的なアーティストが集まり、異なる背景を持つ観客と交流することが多く、国境を超えた文化交流の場ともなっています。